

～下田のデキゴト～



10/25 ハロウィン和菓子作り

中央公民館調理室にて、公民館講座親子和菓子作り教室を開催しました。親子9組 23名が参加し、グループで協力してハロウィンをテーマにした3種類の和菓子を作りました。



10/28 Sea&Rainbow We are shimoda kids

まどが浜海遊公園に子どもたちの文化・芸術・スポーツ団体が集まり、発表・体験イベントが開催されました。会場では飲食コーナー等も用意され、芝生広場でくつろぎながら、多くの市民でにぎわいました。



11/ 1 明治安田生命寄附

明治安田生命保険様から「私の地元応援募金」活動の一環として、71万9千円が寄贈されました。今回で5回目となる寄附金は、健康づくりの推進に向けた取組に使わせていただきます。



11/ 7 交通安全功労者表彰受賞報告

下田市交通指導員協議会が、通学路での交通安全指導やドライバーへの啓発活動など、長年にわたる交通安全推進の功績が認められ、10/31に内閣府特命担当大臣表彰を受けたことを市長へ報告しました。



11/ 7 教育長より保氏へ表彰状を授与

村山保氏が、10/23に保育事業従事者に対する内閣府特命担当大臣表彰を受けられました。約25年保育士として従事後、平成9年11月に現職に就任。現在も保育現場の最高責任者として尽力されています。



11/19 大切な家族のもしものときを考えて

市では初となる大規模災害を想定した遺体収容所運営訓練を実施しました。県警や県をはじめ、多くの関係者が集まり、ダミー人形を使って、受付から検視、歯牙鑑定、遺体処置、引渡しまでの手順確認を行いました。

11月の
できごと

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1日 下田市表彰・下田市技能功労者表彰式 | 11日 下田わくわくパークこれば！ |
| 2日 全国瞬時警報システム一斉伝達訓練 | 21日 わたしの避難計画普及員養成講座 |
| 4日 体験型ブック『伊豆の踊子』下田編 | 28日 下田小学校創立150周年式典 |

地域子育て支援センター通信

問合せ先 地域子育て支援センター ☎02200



11月の予定

- 4日(木) 開放開始
- 6日(土) 開館日
- 10日(水) めだかルーム 9時～11時30分
- 11日(木) こま作り
- 12日(金) こま作り *午後閉館(清掃・消毒)
- 15日(月) 体育館で遊ぼう 9時30分～11時
場所：市民スポーツセンター(サンワーク)
- 17日(水) あひるルーム 9時～11時30分
- 20日(土) 開館日
- 22日(月) 発育測定・育児相談 9時～11時
保健師・栄養士来所
- 24日(水) うさぎルーム 9時～11時30分
- 25日(木) 誕生会 10時30分～
- 26日(金) わくわくタイム *午後閉館(清掃・消毒)
- 29日(月) 交通安全教室

※予定は変更になる場合があります。
詳細は子育て支援センターまでお問い合わせください。



ハロウィン製作



誕生会

赤や黄色で彩られていた木々の葉も、いつの間にか散って、今年のカレンダーもあと一枚となり、忙しい季節がやってきました。感染予防のためにも手洗い、うがいの励行、十分な睡眠と栄養を心がけ、元気に過ごしましょう。また、寒いとついつい厚着をさせてしまいがちですが、暖房で暖まっている室内では上着での温度調節を心がけましょう。自分で体温調節ができない乳児には、大人の気遣いが大切ですね。



おでかけ広場



ヨガ&リトミック

こんにちは、教育長です
～生きる支えとなるもの～



あることがきっかけで、三遊亭楽太郎(故円楽師匠)さんと両国で食事をする機会がありました。かなり昔のことです。楽太郎さんは親交深かった力士を何人かお連れしてきたので、一緒に鍋料理を囲みました。寺尾関(鍛山親方)や逆鉾関もいて、それはもう尋常でなく豪快な飲みっぷりでした。楽太郎さんの話がそれほど面白くて、当時生徒会担当の私は「こんな方を学校の文化祭に呼べたら」などと思い、翌日教頭先生に、秋の文化祭の「楽太郎講演」を提案したので、それが校長先生に伝わると、案の定「子どもたちに落語を、二体いくらかかると思っているんだ」と。確かにと思いつつも、門前払い覚悟で依頼文を書き、江東区にある落語協会事務所に行く許可を取り付けました。予算は交通費込みの出演料5万円という、わずかな生徒会費。無謀でした。楽太郎さんは「無理です。でも5万円なら弟子を行かせましょう。『三遊亭かつお』つてやつですが。」知りません。見たことも聞いたこともありません。「明石家さんま」に對抗して付けた名前だそうです。それでも念願の落語講演会を文化祭でできる。生の落語で子どもたちに喜んでもらえる、と即決しました。お弟子さんとはいえ稽古をたっぷり積んだ落語家です。600余人がかつおさんの話術に魅了され爆笑の渦でした。今、「笑点」に円楽(楽太郎)さんの姿はありませんが、私には、事務所にお願ひに上がった時のことや笑い声の響く体育館の記憶が鮮明に残っています。企画を共にした生徒会執行部の生徒たちとは今でも年賀状を交わし連絡を取り合っています。ただ、かつおさんは現在どこでどんな人生を送っているのか。テレビで「さんま」を見ると、よく「かつお」を思い出します。かつおさんと、かつおさんを送り出してくれた円楽さんには今でも感謝しています。